

迎春

千葉地本だより



新年のご挨拶

自衛隊千葉地方協力本部

本部長 一等海佐 大山 康倫



新年おめでとうございます。旧年中は皆様から多大なご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございました。

さて、昨年令和三年は新型コロナウイルス感染症との闘いの一方、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、アスリートの大活躍で日本中が元気をもらい、そして希望を感じた年だったと思います。また、千葉地方協力本部にとっては創立六十五周年の年でもありました。創設当時を振り返れば、自衛隊に対する心象は大きく変化したと思います。湾岸戦争後の海上自衛隊掃海艇ペルシヤ湾派遣を皮切りに始まったPKOや国際緊急援助活動などの国際平和協力活動、及び東日本大震災をはじめとし近年頻発する風水害などへの災害派遣活動を通じ、今では多くの国民の方が信頼をしてくれる組織となりました。この間、防衛庁は防衛省に、また自衛隊は統合運用体制へと移行、そして、地方連絡部も地方協力本部へと改編されましたが、『自衛隊と地域社会をつなぐ窓口』として、私たちが為すべきことは、創設当時と変わっていません。千葉地方協力本部は諸先輩方と関係各位の皆様が永年に亘り築いてこられた地域社会との絆をより強固なものとするとともに、環境の変化にもしつかりと適合していきます。

結びに、本年が幸多き年となりますようお祈り申し上げ、年頭のご挨拶いたします。

千葉県自衛隊協力会連合会

会長 熊谷 俊人



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

昨年六月に千葉県自衛隊協力会連合会会長に就任いたしました千葉県知事の熊谷俊人です。

自衛隊並びに関係者の皆様には、日頃より国民の安全・安心の確保に多大なる御尽力をいただいておりますことに、深く敬意と感謝の意を表します。昨年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中、鳥インフルエンザ発生に係る災害派遣や、ブルーインパルスによる展示飛行・国旗掲揚をはじめとする東京オリンピック・パラリンピック競技大会への支援、大規模ワクチン接種センターの設置・運営など、様々な御支援、御協力をいただきました。

当連合会では自衛官の皆様への感謝と激励の気持ちを表すため、一昨年に続き、昨年も高射学校・航空自衛隊第一高射隊へ感謝状をお贈りしました。本年も、当連合会としては、「防衛意識の高揚」や「自衛隊に対する支援・協力」という目的の下、防衛関係各協力団体と連携し、自衛隊の活動を側面から支えてまいりたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

結びに、自衛隊並びに関係者の皆様の御健勝と御多幸を祈念申し上げます。新年の挨拶いたします。

発行
自衛隊

千葉地方協力本部
募集課総括班
千葉県千葉市稲毛区轟町1-1-17
043-251-7151



千葉地本ホームページ



千葉県自衛隊家族会

会長 安部 育子



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になりました。今年も家族会は『隊員の最も身近な存在であることに誇りを持ち、力を合わせて自衛隊を支える』を柱に活動して参ります。

コロナ禍の中、活動も思うように叶いませんでしたが、募集協力のお役に立てばと思い、家族会オリジナルのクリアファイルを作成し贈呈することとなりました。

今年こそ現職自衛隊員のご家族に入会していただきたく、切に望んでおります。

これからも家族会は、隊員と家族を結ぶ懸け橋として活動するため、会の充実と発展を目指し、会員と心を一つに頑張つて参ります。何卒お力添えのほど宜しくお願い致します。

結びに皆様の今年一年が良い年でありますよう、ご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げご挨拶とさせていただきます。

千葉県隊友会

会長 神原 誠司



明けましておめでとうございます。

千葉地方協力本部及び在葉自衛隊部隊・隊員の皆様、そして防衛関係諸団体の皆様におかれましては、健やかな正月を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染が波状的に蔓延し、経済等活動や各人の行動が制約をされた一年でした。一方で、オリンピック・パラリンピックの成功は多くの国民に大きな勇気を与えたと思います。

また、自衛隊においても、諸行事等が制約される中ではありましたが、各種災害派遣やオリンピック・パラリンピック支援、自衛隊大規模接種センター運営は、大きな成果だったと思います。

困難な環境下での自衛隊の各種活動について、OBとして大変心強く、誇りに思いました。

新型コロナウイルス感染は、現在沈静化しているものの、第六波が来るのではないかと懸念されています。予断を許さない状況だと思えます。

今年は、このような環境の中においても、『隊友会は、自衛隊の活動をサポートし、県民と自衛隊の懸け橋』になれるよう、細心の注意を払いながら、一意専心努力していきたいと思えます。

改めて皆様のご活躍を祈念し、新年のご挨拶と致します。

千葉県自衛隊援護協力会

会長 松山 典夫



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。旧年中は、私共援護協力会に各段のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い生活様式や経済活動の転換を余儀なくされたとともに、東京オリンピック・パラリンピックの開催要領の変更など日本の社会情勢は様々な出来事がありました。

また、新規感染者等も減少し、緊急事態宣言が解除となり、徐々に人々の生活も活気が戻りつつあることは喜ばしい限りではありますが、この先の新型コロナウイルスとの戦いは見えていないのが現状であります。

また、自衛官におきましては、令和二年一月（令和元年度）から定年退職年齢が延長したことにより、令和二年度の退職者数は抑制されたものの、令和三年度から退職予定隊員数が増加し定年退職予定者数の多数期を迎えるものと伺っております。今後景気が回復し、経済状況が活性化すれば、雇用の促進に繋がるものと信じております。

新年度も引き続き、会員の皆様、自衛隊関連の皆様の御支援御協力を賜りますよう本年も会長として『自衛隊退職者の雇用促進を図り、有能な労働力を確保し県内産業の興隆に寄与する。』ことが出来まますよう邁進して参る所存であります。

最後になりますが、会員皆様の御健勝と御家族様の御多幸をお祈り申し上げます。年頭の御挨拶とさせていただきます。

自衛隊千葉地方協力本部協力会

会長 江口 幸一



今年度から千葉地本協力会会長になりました江口です。コロナ禍で総会が開催出来ず、昨年十月に書面による総会資料で会員皆様の了承を得て齋藤誠祐会長の後任になりました。最初の仕事が一十一月十七日に開催された千葉地方協力本部創立六十五周年記念行事でした。

コロナ禍の行事であつたため制約のある開催でありましたが、厳粛な式典が執り行われました。私にとつても陸海空の制服姿に久しぶりに触れる機会でした。

今回会長を引き受けました自衛隊千葉地方協力本部協力会は、千葉地本の所在地である轟町にちなみ、通称名を轟会としております。

本会の会員は、千葉地本に在職した者と本会の目的に賛同する者で構成され、千葉地本で勤務したOBが主力ですが、千葉地本の活動に協力していただける方々も会員になっておられます。

本会の目的は、会員相互及び千葉地方協力本部部員との親睦を図るとともに千葉地本の業務を支援することであり、年に一度の総会懇親会では千葉地本現職の皆さんと轟会会員の交流が例年行われておりましたが、コロナの影響でこの二年間は開催されていません。

今年こそ会員相互の親睦を深め、千葉地本への協力に万全を期したいと思えます。



2021 2021 2021 2021

1年間の振り返り

2022 2022 2022 2022

1月



・大原専門学校防衛講話

2月



・防衛大学校父母会防衛講話

3月



・デジタルサイネージ設置

4月



・入隊業務

5月



・千葉県知事表敬
・つつじ祭り見学

6月



・神奈川地本研修

7月



・東部方面総監初度視察
・市街地広報

8月



・曹候補合格者説明会
・横須賀基地見学ツアー

9月



・CH-47体験搭乗(入間基地)
・千葉ロッテイベント参加

10月



・UH-1体験搭乗(下志津)

11月



・横須賀地方総監激励受け
・浦安セーフティーコンサート

12月



・護衛艦「いずも」艦内コンサート

2022年も頑張ります！

千葉地方協力本部 創立六十五周年記念行事

令和三年十一月十七日(水)、自衛隊千葉地方協力本部創立六十五周年記念行事及び令和三年度千葉地方協力本部長感謝状贈呈式を千葉市中央区の三井ガーデンホテル千葉において実施しました。

記念行事は、部員の更なる士気の高揚及び団結の強化を図るとともに、各関係機関、在葉部隊長等の皆さまにご臨席を賜り、日頃からの感謝の意をお伝えしたところでしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に万全を期すため、本部員、千葉地方協力本部協力団体の代表の皆さま及び本部長感謝状の受賞者のみに制限させていただき開催しました。

式典では、創立六十五周年を記念し作成したDVDを映写し、千葉地方協力本部のこれまでの歴史を振り返るとともに、各課各事務所ごと部員が勤務する姿を写し出し、これから新たな歴史を刻むべく部員一同心を一つにしたところです。

千葉地方連絡部の時代から六十五年で築き上げた信頼を、さらに強固なものとするべく、自衛隊員としての矜持を胸に、国民と防衛省自衛隊との懸け橋として、また、入隊から退官まで自衛官の一生を支える組織として、最前線で頑張っている陸海空自衛官が、後顧の憂いなく任務に邁進できるよう、地方協力本部は「一分を守り、分を尽くして」参ります。

高等工科学校生徒受験受付中

試験日 令和四年一月二十二日(土)

または、二十三日(日)

試験場所 陸上自衛隊下志津駐屯地

試験科目 国語・社会・数学・理科・英語(マークシート)・作文(五百字程度)

※試験に関するお問い合わせは、千葉地方協力本部募集課もしくは最寄りの募集案内所等にご連絡ください。

お問合せ先

〇四三二五一一七一五
自衛隊千葉地方協力本部(募集課)

永年の自衛隊勤務お疲れ様でした！

定年退官者紹介

募集課総括班

准陸尉 市角 智直
令和3年11月10日付

船橋出張所

陸曹長 岡野 重幸
令和3年10月9日付

千葉募集案内所

准陸尉 岡田 浩和
令和3年9月30日付